

プロのワザというのは確実で安心だ。不動車だったこのGSX-R1000も、秋葉モーターサイクルの秋葉さんによる確かな作業でリフレッシュし、安心して走れるようになった。ただ細かいところを見て行けば、まだ手直ししたい部分は残っている。その最たるものはエンジン。中身は今のところ問題ないのだが、オイル漏れとにじみが部分的にあり、見た目に調子いいエンジンには見えず少しみすばらしい。せうかく不動車を再生するのなら、この辺りも何とかしたいもの。

このバイクを最初にチェックしたときに発見したオイル漏れは、実はシリンドラーヘッドカバーを止めているオイルライン共用のボルトが緩んでいたのが原因で、これは締め直すことで解決してしまった。しかし「他にも漏れている箇所がないか確認しておきたい」と言う秋葉さんは、念には念を入れ腰上をバラシガasket類の状態を確認することに。この辺りの気遣いはさすがプロである。ニューテック号のガスケット類はとくにゴム



【オイル+ケミカルで走り復活】 ニューテック不動車再生術 Vol.3

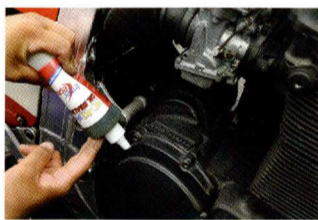
Text&Photo/Kazuma Takagi 高城一磨
取材協力/秋葉モーターサイクル Phone 046-274-8198 <http://www.akibamc.net/>
ニューテックジャパン Phone 045-628-2055 <http://www.nutec-japan.com/>

今月の先生も……？

いつの間やらニューテック号の主治医となつてしまった秋葉さん。街のバイク屋さんらしい身近な雰囲気を保ちながら、丁寧で確かな作業は遠方からもお客を引き寄せるほど。最近ではプロにご執心。

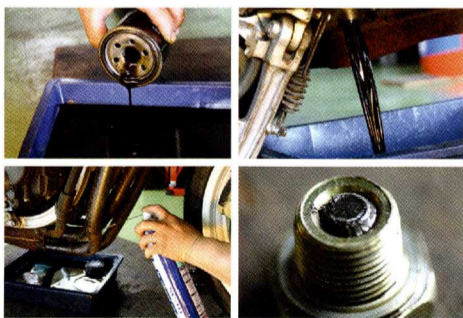


【第3回：エンジンのオイル漏れを止める】



ガスケット類無交換!? エンジン分解時の常識破りに 添加剤で挑戦!

車検も取得し公道復活を果たしたGSX-Rニューテック号。でも、エンジンにはオイル漏れとにじみが残ったまま。原因を探りガスケット交換が一番だが、その前に試してみたいケミカルがある。それがニューテックのNC81Plus。今回はオイル漏れ対策の話です。

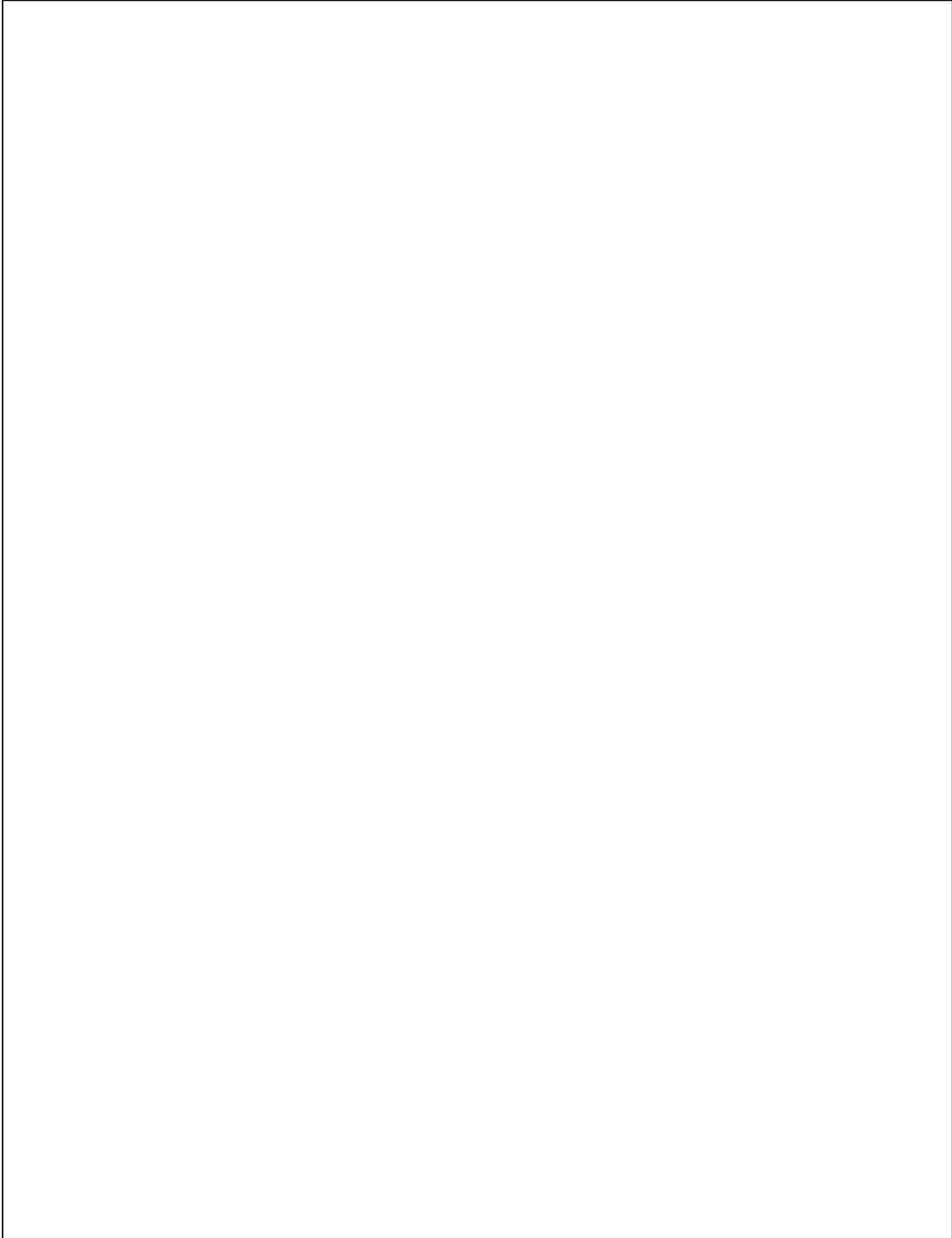


使っていたオイルの状態は？

過去に交換したことがあるのかもどうか分からないエンジンオイル。恐る恐るドレンボルトを外してみれば、まるで水のようなオイルが勢いよく流れ出てきた。目立った金属粉などはなかったが、オイルを触っても粘り気はまったく感じず、指にまとわりつくことなくポタポタ垂れる始末。そのまま走り続けていけば、簡単に油膜切れを起こしそうな感じだった。距離を走っていないくても、時間の経ち過ぎたエンジンオイルは性能が劣化しているという証拠である。

腰上分解後千切れたガスケットもそのままに組み直し、オイルをNC41に交換した油冷エンジンは、その直後に160kmほど走ると思惑通りにじみが拡大。NC41の浸透性の高さもあるのだろうが、とくにシリンドラーベース部分は、まるでお漏らしをしたかのように染みがデカくなった。オイル漏れ対策ケミカルとして名高いNC81Plusだが、果たしてどのような結果に……？

系がヘタリ気味で、やはり経年変化を感じさせる状態になっていた。本来ならここで新品のガスケット類を使い組み直せば当分オイル漏れを心配しなくて済むのだが、そこで思いついたのが今回の意地悪テスト。今まで使っていたものをそのまま再利用すれば、へ口へ口で収まりの悪いガスケットの効果？ でさらににじみが大きくなるはず。それをニューテックのオイル添加剤、NC81Plusで止めてみようというものである。



媒体名

発売日：2005.07.25 出版社

clubman no.243(クラブマン no.243)
定価:¥880(月刊) ネコパブリッシング